

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

令和6年7月1日 現在

団体名 所在地	公益社団法人 新潟市シルバー人材センター 新潟市中央区上所1丁目11番4号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表理事 理事長 若林 孝	電話番号	025-241-3541
	新潟市職員OB	ホームページ	http://webc.sjc.ne.jp/niigatashi
市所管課	福祉部 高齢者支援課	電子メール	honbu@niigatashi-silver.or.jp
基本財産 (基本金)	- 千円	設立年月日	昭和54年7月1日 (平成24年4月1日公益社団法人へ移行)
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
		千円	%
設立目的	高齢者が希望に応じた臨時的かつ短期的就業で、生きがいの充実及び社会参加の推進を図り、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与する。		
経営理念 経営方針	市民・会員に対するシルバー事業の浸透を図り、1人でも多くの会員に就業機会を提供できるよう役職員・会員が組織的に取り組む。		

2. 主要事業

事業名①		就業機会確保・提供事業							
事業概要	<p>(概要)</p> <p>シルバー人材センターの主たる活動は、一般家庭や民間事業所及び公共団体などの発注者から請負又は委任契約（受託事業）及び労働者派遣事業や職業紹介事業による仕事を、会員として登録した高齢者の中から適任者を選んでその仕事を遂行している。財源は主に、受取事業収益、受取補助金等です。</p> <p>(市政へどのように寄与・貢献するのか)</p> <p>高齢社会対策を支える重要な組織として、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて事業を運営しています。</p> <p>新潟市シルバー人材センターは、定年退職者など的高齢者に、そのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務(その他の軽易な業務とは、特別な知識又は技能を必要とすることその他の理由により同一の者が継続的に当該業務に従事することが必要である業務をいいます)」を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上・活性化に貢献しています。(仲間ができる・健康がたもてる・新しいチャレンジができる・収入を得られる)</p> <p>また、シルバー人材センターの会員は、雇用・就業に加え、みどり会(会員互助組織)のサークル活動などを通じて、心身の両面にわたる健康の維持にも寄与しており、センターを通じて就業している会員の※総医療費の推計値によると、一般の高齢者に比べ年間6万円少なくなっており、要介護者の減少もみられている状況となっています。このことを推計した場合、医療費は3,899人の新潟市シルバー人材センター会員全体で年間約2億3,394万円の財政軽減に寄与している試算となります。また、シルバー人材センターからの収入がなくなった場合、会員の4割が生活保護受給者になる恐れがあります。</p>								
	事業区分		主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公益事業	受託事業	収入額	千円		予算	1,527,040	1,560,029	1,597,089	1,658,124
					決算	1,462,945	1,472,344	1,436,591	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
会員数		R6	人	6,385	-	令和5年度の中期計画による会員数は未達成となりました。理由として、会員の確保に向け1会員1入会促進運動の推進や女性向け活動説明会及びセンター説明会の実施、会員募集の新聞広告、広報紙の新聞折込み、市民向け技能・健康講座の開催、プラチナ会員制度や配偶者減額制度などの退会抑制を図る会員制度の運用などに取組みましたが達成することができませんでした。			
		R5	人	6,035	3,899				
		R4	人	5,704	3,981				
		R3	人	5,391	4,079				
						令和4年度の中期計画による会員数は未達成となりました。理由として、会員の確保に向け1会員1入会促進運動の推進や女性向け活動説明会及びセンター事業説明会の実施、会員募集の新聞広告、広報紙の新聞折込み、ラジオ出演、プラチナ会員制度や配偶者減額制度など退会抑制を図る会員制度の運用に取組みましたが中期計画に掲げた会員は達成することができませんでした。			
						令和3年度の中期計画による会員数は未達成となりました。理由として、1会員1入会促進運動の促進や女性向け説明会の実施、会員募集の新聞広告など様々な取り組みに関わらず、コロナ禍の厳しい状況等により、入会者数がのびなかった一方、会員の高齢化による退会者が多く中期計画に掲げた会員は達成することができませんでした。			

活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
就業率	R6	%	77.4	-	-
	R5	%	76.6	77.9	令和5年度の中期計画の就業率については達成いたしました。
	R4	%	75.8	78.6	令和4年度の中期計画の就業率については達成いたしました。
	R3	%	75.1	78.4	令和3年度の中期計画による就業率については達成いたしました。
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
契約金額	R6	千円	1,609,000	-	-
	R5	千円	1,606,000	1,497,410	令和5年度の中期計画による契約金額は派遣事業では増となりましたが請負・委任事業及び介護保険事業が減少となり達成することができませんでした。
	R4	千円	1,603,000	1,507,015	令和4年度の中期計画による契約金額は請負・委任事業及び派遣事業は減少し、介護保険事業が微増となりましたが、請負・委任事業で特に一般家庭が減少したことにより未達成となりました。
	R3	千円	1,600,000	1,506,083	令和3年度の中期計画による契約金額は派遣事業及び介護保険事業は微増となりましたが、請負・委任事業で特に民間事業所が減少したことにより未達成となりました。理由として、様々な取り組みに関わらず、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染状況に伴い、各企業等から発注の見合わせが多かったことが原因となりました。

<p>所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価</p>	<p>補助金支出のほか、庁内掲示板を活用してシルバー人材センターの紹介を行い、シルバー人材センターを積極的に活用するよう庁内で呼びかけを行った。市の広報誌やパンフレット等で会員募集の記事などを掲載し、当該センターが実施している事業の周知にも努めたが、就業率以外は目標達成とはいかなかった。プラチナ会員制度や配偶者減額制度などの新しい取り組みを積極的に行ってきた点は評価できる。</p>
--	--

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和6年7月1日 現在 (単位:人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
役員数	18	18	18	18
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB	1	1	1	1
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	17	17	17	17
市兼任	1	1	1	1
市職員OB	1	1	1	1
他団体兼任				
その他	15	15	15	15
職員数	45	45	48	53
常勤	14	14	17	17
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	14	14	17	17
他団体からの派遣				
非常勤	31	31	31	36
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	31	31	31	36
見直し等の取組み	引き続き、就業開拓を行うことにより、開拓員(臨時職員)を配置した。	引き続き、就業開拓を行うことにより、開拓員(臨時職員)を配置した。	令和4年9月に正職員3名を採用。	デジタル化の普及促進を目的にデジタル窓口相談員4名を配置した。

(2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

令和6年7月1日 現在 （単位：人）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	44	44	47	52
	合計	45	45	48	53
年齢構成	20代以下	2	2	3	1
	30代	4	3	3	4
	40代	5	6	6	5
	50代	12	12	13	12
	60代以上	22	22	23	31
	合計	45	45	48	53

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（予算）
報酬・給与等		125,207	127,767	136,190	132,289
役員	内 市職員分	0	0	0	0
	常勤	4,530	3,996	4,200	
	内 市職員分				
	非常勤	3,915	3,300	3,300	3,300
	内 市職員分				
職員	非常勤	615	696	900	920
	内 市職員分				
	常勤	120,677	123,771	131,990	132,289
	内 市職員分				
	非常勤	79,031	80,916	89,634	84,818
平均年収（市職員を除く。）					
常勤役員	3,915	3,300	3,300	3,300	
常勤職員	5,645	5,780	5,273	4,989	
見直し等の取り組み					

(4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用（但し、4号ランク下を適用）	●	無 [市の見直しに合わせて検討する。]
	その他 []		その他 []

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般正味財産増減の部	経常収益	1,462,945	1,472,344	1,436,591
	基本財産運用益			
	特定資産運用益	1	1	1
	受取会費	4,224	4,032	3,880
	事業収益	1,367,061	1,370,270	1,334,833
	自主事業収益			
	受託事業収益	1,367,061	1,370,270	1,334,833
	受取補助金等・負担金	91,458	98,000	97,800
	その他経常収益	201	41	77
	経常費用	1,495,367	1,475,048	1,455,824
	事業費	1,483,648	1,461,944	1,441,942
	公益目的事業費	1,483,648	1,461,944	1,441,942
	収益目的事業費 (自主事業費)			
	(受託事業費)	1,483,648	1,461,944	1,441,942
	法人会計			
	管理費	11,719	13,104	13,882
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 32,422	▲ 2,704	▲ 19,233
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
	特定資産評価損益等			
	投資有価証券評価損益等			
	当期経常増減額	▲ 32,422	▲ 2,704	▲ 19,233
	経常外収益	105	9	24
経常外費用	0	0	4	
当期経常外増減額	105	9	20	
当期一般正味財産増減額	▲ 32,317	▲ 2,695	▲ 19,213	
一般正味財産期首残高	176,921	144,605	141,910	
一般正味財産期末残高	144,604	141,910	122,697	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			
	その他			
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
	基金期末残高	0	0	0
正味財産期末残高		144,604	141,910	122,697

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	125,207	127,767	136,190
役員分	4,530	3,996	4,200
職員分	120,677	123,771	131,990

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部	資産の部合計	257,418	247,208	246,321
	流動資産	123,870	116,641	125,002
	現金預金	12,983	7,052	10,079
	未収金	109,743	109,883	104,394
	有価証券			
	その他流動資産	1,144	▲ 294	10,529
	固定資産	133,548	130,567	121,319
	基本財産			
	特定資産	131,859	116,860	94,811
	その他固定資産	1,689	13,707	26,508
	有形固定資産	157	124	16,106
	無形固定資産	1,532	13,583	10,402
	その他投資等			
負債の部	負債の部合計	112,813	105,298	123,624
	流動負債	112,813	105,298	123,624
	短期借入金			
	その他流動負債	112,813	105,298	123,624
	固定負債	0	0	0
	長期借入金			
その他固定負債				
正味財産の部	正味財産の部合計	144,605	141,910	122,697
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産			
	うち補助金			
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	144,605	141,910	122,697
	代替基金			
	その他一般正味財産	144,605	141,910	122,697
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)				
負債の部及び正味財産の部合計	257,418	247,208	246,321	

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市財政支出等の合計	429,737	433,768	435,286
補助金	51,300	49,100	48,900
事業費補助金	25,500	34,242	34,242
運営費補助金	25,800	14,658	14,658
設備投資に係る補助金		200	
負担金			
交付金			
委託料	378,437	384,668	386,386
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）	378,437	384,668	386,386
業務委託（その他）			
貸付金（期中借入額）			
出資・出捐金（追加額）			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)	7事務所等の使用料免除及び無償貸与（令和2年度から本部・中央事務所有料化）	7事務所等の使用料免除及び無償貸与（令和2年度から本部・中央事務所有料化）	6事務所等の使用料免除及び無償貸与（令和2年度から本部・中央事務所、東事務所有料化）

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

センターは、原則として市町村単位に置かれており、国や地方公共団体の高齢社会対策を支える重要な組織として、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて事業を行う、都道府県知事の指定を受けた公益法人で、センターは地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を実行し、地域社会の活性化と医療費、介護給付費及び生活保護費の削減に寄与しているところです。このことにより国及び市からの補助金や公共からの受託事業等の支援が必要となっています。

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
純資産	144,605	141,910	122,697
公益目的保有財産	▲	▲	▲
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲ 131,859	▲ 116,860	▲ 94,811
抛出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	12,746	25,050	27,886

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

(1) 財務の健全性

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常損益		▲ 32,422 千円	▲ 2,704 千円	▲ 19,233 千円
自己資本比率	純資産	56.2 %	57.4 %	49.8 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	109.8 %	110.8 %	101.1 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	92.4 %	92.0 %	98.9 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	144,605 千円	141,910 千円	122,697 千円
公益目的事業比率	公益目的事業費	99.2 %	99.1 %	99.0 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	116.40	58.36	51.71
	遊休財産額			
資金運用 （基本財産としての 有価証券の保有）	有	→	① 運用方針を明文化し、それによって運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
	無			

(2) 団体の自立性

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	29.4 %	29.5 %	30.3 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	1.8 %	1.0 %	1.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

(3) 経営の効率性

指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	30,379 千円	30,450 千円	27,809 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	▲ 720 千円	▲ 60 千円	-401 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	0.8 %	0.9 %	1.0 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	260 千円	291 千円	289 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	8.6 %	8.7 %	9.5 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	3.6 %	3.1 %	3.1 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称 [共に生きる 中期計画] 計画期間 令和2年度 ~ 令和6 年度
概要・数値目標 令和2年度から令和6年度までの5ヵ年にわたる「会員数」「就業率」「契約金額」の到達目標を定めた。	
● 無	未策定理由 []

② 経理の適正化の取組み	
専門家による監事・監査役就任	専門家による会計指導
● 有	就任時期 年度~ 依頼先職種 []
● 有	依頼時期 平成22 年度~ 依頼先職種 [公認会計士]
● 無	無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 平成18 年度~ 事務の効率化、統一化等を図るため、令和4年2月に新たなシステム導入を行った。デジタル化推進の検討に努めた。
● 無	

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 平成18 年度~ 外部の研修会や会議への参加及び内部での職員研修等の実施。 OJTの実施。
● 無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況	
● 有	策定時期 平成15 年度~ 規定名称 [新潟市シルバー人材センター情報公開規程]
● 無	未整備理由 []
団体ホームページ掲載	● 定款等 平成17 年度~
	● 事業内容 平成17 年度~
	● 役員名簿 平成17 年度~
	● 役員報酬 平成17 年度~
	● 事業報告 平成17 年度~
	● 正味財産増減計算書 平成17 年度~
	● 貸借対照表 平成17 年度~
● 事業計画書 平成17 年度~	
● 予算概要 平成17 年度~	

改善対応区分
A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
B: 改善の取組の効果が始まっている
C: 改善の取組に着手
D: 改善の取組に向けて検討中
E: 今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		今後策定する中長期経営計画には、「会員数」「就業率」「契約金額」の目標を達成するための具体策を盛り込み、PDCAサイクルをまわし、団体の活動をよりよくしていくことを期待する。				
改善のために取り組んだ内容		中期計画目標を達成するための具体的な7項目を設定し、四半期ごとに数値化して理事会に報告した。現状把握と今後の課題を理事全員と職員間で共有して目標に向けて取り組んだ。				
取組みによる成果		具体的な7項目のうち4項目は達成した。未達成だった項目は退会者数、1.1就業開拓実績（会員自らが仕事を開拓する運動の契約額）、事故件数の3項目。結果、3つの中期計画目標のうち、就業率のみが目標を達成した。				
改善・対応区分		A	B	● C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	計画	会員数・就業率・契約金額	会員数・就業率・契約金額	会員数・就業率・契約金額		
	実績	就業率のみ達成	就業率のみ達成			
	進捗状況	<p>【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】</p> <p>基本目標を達成するための具体的な7項目の達成状況</p> <p>①1会員1人入会促進運動・・・達成。具体的な目標数値より31人増となった。登録会員が知人に声をかけて入会者を増やす運動は今後も継続する。</p> <p>②女性会員割合・・・達成。女性割合は年々増加しており、女性委員会を中心とした各種活動を継続する。</p> <p>③入会者数・・・達成。様々な仕事があることをPRしていく。</p> <p>④退会者数・・・未達成。75歳以上の高齢会員が健康上の理由で退会するケースが顕著だったため、退会抑制が困難だった。</p> <p>⑤1会員1就業開拓運動・・・未達成。会員に運動が浸透していない感じがしている。</p> <p>⑥派遣就業推進・・・達成。今後も新規受注の開拓に力を入れる。</p> <p>⑦事故発生防止・・・未達成。作業別安全就業基準を策定し、賠償事故は一定数減少したものの、転倒事故が多発。傷害事故が増加した。</p>				
	今後の課題	<p>【取り組み状況を踏まえた今後の課題】</p> <p>（未達成項目の課題）</p> <p>①退会者数・・・20年以上在籍し、活躍してきた会員が退会することは自然のながれであり、全体の会員年齢構成からしても一定数の退会者が出てしまう状況である。今後数年間は75歳以上の退会者が多い時期だと捉えている。一方、入会しても就職が決まり、短期間で退会するケースが増えている。センターの月10日程度の就業ルールでは、収入を目当てに入会する方には物足りなく、希望に添えていない。</p> <p>②1会員1就業開拓活動・・・この運動で獲得する仕事は除草と剪定が大変多い。しかし就業会員の高齢化、外仕事を希望する新規入会者の減、そして夏季の長引く高温により、依頼があっても全ての仕事を受けることができない。また、そのほかの受注に向けて、全会員でこの運動に取り組むたいが、自らが動いて仕事を獲得するという「自主自立」のモットーが浸透しづらい状況である。センターからの情報発信にも関心が薄れており、「集団」から「個」の考えを持つ会員が増えている。</p> <p>③事故発生防止・・・令和5年度から作業別安全就業基準を定め、賠償事故は減らすことができた一方、傷害事故が増加した。その約半数が転倒事故であり、加齢による原因が大きい。</p>				
	課題への対応	<p>【今後の課題への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入会説明会を毎月8区で開催し、センターでの働き方を知ってもらう機会を増やす。 ・女性会員の獲得に重点をおく。女性は比較的、短時間の就業を好むためセンターの就業ルール（臨時的短期的・月10日程度の就業）の範疇で可能な働き方やメリットを提案する。そのために女性向け活動説明会を年6回に増やし、市内各地で開催する。 ・市民向けの広報紙面に多くの就業写真を掲載。除草と剪定だけでなく、様々な仕事の依頼があつて働いている会員がいることを表して入会と受注促進につなげる。 ・デジタル化を進めており、センターからの情報が、会員各自のスマホへ直接発信できるツールの登録を推進する。 ・センター全体の登録会員の年齢層を鑑み、自身の体力や足腰強化を意識するきっかけ作りとなるような機会を積極的に取り入れる。 				
中期計画の目標値達成状況						

改善指示事項		会員の入退会理由の調査・分析、マスコミ等を通じた情報発信の効果分析など、会員数の増加に向けた取り組みについて事後的に評価が必要である。					
改善のために取り組んだ内容		<ul style="list-style-type: none"> ・センターの名前は知っているが、具体的な活動や仕事の中身が伝わっていないのではないかと考え、年4回の市民向け広報誌を発刊し、実際の就業現場で会員に取材をして、入会をきっかけや仕事を始めたことによる生活の変化などを可視化した情報発信に取り組んだ。 ・センター事業説明会及び女性向け活動説明会の参加者にアンケートを実施し、入会前の方々がセンターのどんな情報を聞きたいのかを把握した。 					
取り組みによる成果		<ul style="list-style-type: none"> ・上記の取組は令和4～5年度と続けてきたが、広報誌の効果は大きく、昨年実施したセンター説明会及び女性向け活動説明会の参加者合計は207人。（うち入会者75人） ・参加者アンケートによると、説明会に参加した動機は「センターのことを知りたかった」が最も多かった。説明会は入会後の仕事の有無やセンターでの働き方などを知る機会となっており、自分にあった活動ができるのかを見極めるきっかけとなっている。上記の退会者への課題にもあるとおり、臨時的・短期的な仕事であることを承知してからの入会のため、退会者減少にも効果があると感じている。 					
改善・対応区分		A	B	● C	D	E	
改善に向けた取り組み	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
		計画	実施（予定）	実施	再検討		
	実績	実施に向けた調整	一旦見送り・継続検討				
	ホームページによる入会申込	進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 プロジェクトチームを結成してWEB入会の実施に向けて取り組んできた。しかし、令和6年度から毎月8区の会場で入会説明会を開催することが決定され、その参加申込をWEB入会で行うことができるように再検討を行った。その結果、現在使用している業務システムの構成上、スムーズな申込受付が可能な状態になるとは言い難く、無理に進めても混乱をきたす恐れがあったため、WEB入会については一旦見送りとなった。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 入会者増に向けて、各区で毎月入会説明会を行うことで、直接、話を聞き、納得した上で入会する方式をとったため、WEB入会は先送りとなった。今後、デジタル化がより一層進み、入会方法もWEB上で完結できるように方向づけをする時期がきたときには、検討してきたことを土台に進めていきたい。また、業務システム自体もバージョンアップしていくことで、簡易に手続きが可能となれば改めて検討したい。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 ・入会説明会の在り方（WEBでセンター説明が聞けるなどの新たな方法の採用） ・WEB入会に関して、現システムの改良を業者へ提言する。				
	退会抑制に向けた対策	計画	実施（予定）	実施	実施		
		実績	実施	実施			
		進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 令和4年度からプラチナ会員制度と配偶者減額制度を開始した。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 ・制度に関して知らない会員が多い。 ・配偶者減額制度の申請方法が毎年書類を提出することとなっており、運用が煩雑になっている。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 ・入会説明会にて制度の説明を行い、周知を図る。 ・配偶者減額制度の申請方法について再検討する。						

改善指示事項		新たな事業展開を見据え、利用者ニーズを調査する必要がある。				
改善のために取り組んだ内容		毎年実施している満足度調査の項目では、新たな事業展開が表れにくいいため、利用者ニーズについては、郵便局ワゴンマーケットの展開を試みた。会員が製作した物をお買い上げいただいたお客様の声を拾い上げ、新たな事業展開の可能性を見いだした。				
取り組みによる成果		趣味で製作していた物が地域のお客様に喜ばれ、実際に売れたという体験を通じて、会員の意欲が向上した。また、郵便局という場所でシルバー人材センターの活動が地域の方々に周知できた。また、販売する郵便局を変えたことで、新たな地域のお客様の声を拾うことができた。 センター活動を知らなかったお客様が郵便局での販売を目にする中で、「こんなこともやっているのですね」と認識を改めていただいた。 ワゴンマーケットから拡大して、保育園から布製おもちゃ製作の依頼や体育祭の衣装づくりの依頼が入り、事業展開ができた。				
改善・対応区分		A	B	● C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	計画	満足度90%以上	満足度90%以上	満足度90%以上		
	実績	1項目以外は達成	1項目以外は達成			
	進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 令和5年度は個人家庭の発注者を対象に満足度調査を実施した。対象件数1,000件のうち、回答件数は614件だった。				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 「申込から仕事までの期間」が83.9%に留まった。原因は、①仕事によっては希望する会員がすぐに見つかりにくいこと。②除草や剪定は依頼時期が集中するため、待っていただく期間が長くなること。この2点を改善するためには会員不足が課題である。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 ・剪定や除草の屋外作業を希望して入会する方は年々少なくなっており、会員不足が否めない。しかし、希望していない仕事を無理強いすることもできず、現状では会員のできる範囲でしか対応せざるを得ない。お客様には現状を丁寧に説明して受注を受け付けるなどの対応を行う。					

改善指示事項		会員数増加が計画に比べ大きく乖離している。環境の変化に即した具体策を検討し、女性向け活動説明会の拡充や説明会そのものの頻度を増加させるなど入会希望者や利用者への組織的アプローチを増加させるべきである。					
改善のために取り組んだ内容		女性向け説明会及びセンター説明会は前年度より会場を増やし開催した。女性向け説明会は1会場を増やしたが、センター説明会は、1会場から6会場と地域を替え実施した。					
取り組みによる成果		入会者数は前年度より56名増加した結果となった。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	新規入会者数	計画	検討	検討	550人以上	550人以上	
		実績	検討	539人			
		進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 開催回数の増や開催地域ごとにチラシを作成し、入会希望者や利用者への新聞折込み等を行い周知を図った。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 会員数が少ない地域への入会促進が今後の課題である。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 会員からの口コミによる入会促進のほか、市民向けの広報誌などで、具体的な仕事の中身や就業会員の声を掲載し、新入会員の増加を目指していく。 令和6年度から8区において入会説明会を開催することとした。				

<p>改善対応区分</p> <p>A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)</p> <p>B:改善の取組の効果が始まっている</p> <p>C:改善の取組に着手</p> <p>D:改善の取組に向けて検討中</p> <p>E:今は実施せず今後の課題とする</p>
--

(2) 【その他改善を要する事項】の改善状況

今後改善を要する事項		お客さまへの満足度調査を実施し、その結果を基にサービスの向上やニーズに即した事業展開に努めます。					
改善のために取り組んだ内容		満足度調査では、「除草」、「庭木管理」及び「襖・障子の張り替え」のニーズが高いことを把握したが、希望する会員が少ないため、未就業会員に個別に連絡を取って、根気よく且つ丁寧に仕事内容を説明して就業につなげる努力をした。					
取り組みによる成果		除草作業については、職員の声掛けなどにより就業に結びついているが、技術が必要となる「庭木管理」、「襖・障子の張り替え」は、ロコミによる呼び掛け、就業会員募集情報等の掲載及び市民向け講習会を開催したが就業を希望する会員はいなかった。					
改善・対応区分		A	B	●	C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	
	計画	100人以上	100人以上		100人以上		
	実績	100人	131人				
	進捗状況	【令和5年度までの達成状況及び今後の見込み】 新型コロナウイルスの感染症法上の分類が令和5年5月8日に季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行したことにより、会員による1会員1人入会促進運動の促進が図られた結果となった。					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 継続して取り組むために、特に新入会員に対してこの運動の主旨を理解してもらうことが課題である。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続き、「自主自立、共働共助」をモットーにしているセンターでは、既存会員にも継続的な周知と声かけを行い、ロコミでの入会を更に推奨していきたい。令和6年度から1会員1人入会促進運動の促進のために、既存会員がより誘いやすくするための初年度年会費無料制度を導入することとした。					

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	経常損益については、自己資本比率を50%以上に保つよう努める。
団体の自立性	引き続き、会員増と就業の拡大に努め、自主財源である会費及び事務費の確保に努める。
経営の効率性・適正性	デジタル化の推進による事務の効率化、統一化を図り、安定した経営に努める。
その他	

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

<p>5カ年計画の中期計画がスタートして4年目を迎えた令和5年度は前年度に引き続き、大変厳しい年度となりました。センター組織が一体となって会員の確保、就業開拓、センター事業の広報強化など様々な取り組みにも関わらず、中期計画に掲げた就業率は達成しましたが、会員数及び契約金額の目標値は達成することができませんでした。高年齢者が希望に応じた臨時的かつ短期的就業で、生きがいの充実及び社会参加の推進を図り、高年齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に地域福祉に貢献してまいりたいと考えております。</p>

【所管課による評価】

<p>就業率以外の項目は目標達成とはいかなかったが、会員数の減少幅は少なくなってきた。1会員1入会促進運動の推進や、市民向け広報誌の新聞折り込みの実施などにより会員数増加の取組みを強化してきたことと、退会抑制策としてプラチナ会員制度や配偶者減額制度などの新たな取組みを積極的に行ってきたことなどが結果に表れてきたものと推測される。</p> <p>しかしながら、企業の再雇用枠の拡大、退職年齢の引き上げなどの社会的要因もあり、厳しい局面に置かれていることに変わりはない。年々需要が増している介護保険事業を強化するなど、利用者ニーズを的確に把握して受託事業の収益向上に努めるとともに、デジタル化を推進して事務の効率化を図るなど、経営改善もさらに推進していく必要がある。</p> <p>当該センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」で規定された団体であるが、高齢者への就業機会の提供だけでなく、制服リユース事業や入園グッズ製作事業など、地域への貢献活動にも大変力を入れており、高齢者の社会参加や健康維持、生きがいの充実等に寄与している団体であるため、高齢者福祉増進の観点からも引き続き適</p>
